

## 研究主題

地域人材の使い方を通じた探究的な学習について  
～中学年での実践を通して～



令和3年8月18日  
白井市立大山口小学校  
越後谷 知篤  
後藤 麻由

## 1 研究主題

地域人材の使い方を通じた探究的な学習について — 中学年での実践を通して — (令和元年度実践)

## 2 主題設定の理由

### (1) 学習指導要領から

令和2年度から全面実施となった新学習指導要領では、総合的な学習の時間の目標を、

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のように育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。⇒〈知識・技能〉
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。⇒〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。⇒〈学びに向かう力・人間性等〉

と定めている。また、学習指導要領改訂の経緯及び基本方針には、「児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことに努める」と明記されている。そこで、本校の地域の実態を正確に捉え、そこに住んでいる方々との共働的な学習体制の形成が必要であると考え、本主題を設定した。

### (2) 学校や地域の実態から

本校は1学年3学級の中～大規模校で、令和3年度の児童数は554名（7月現在）である。千葉ニュータウンの西端の新興住宅地に位置しており、北総線西白井駅周辺への入居が始まった昭和54年に、白井市立白井第三小学校から分離開校した学校である。開校当初はほかの地域から移り住んできた住民が多かったが、平成30年度に開校40周年を迎え、本校出身の保護者や地域の方々が多くなってきている。そういった背景から、地域には学校教育に高い関心をもち、教育活動に協力的な方が増加している。

本校では「自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる」を学校教育目標として掲げている。育てたい・伸ばしたい姿としては、「進んで学ぶ子（かしこく）」「思いやりのある子（やさしく）」「最後までやり通す子（たくましく）」の3つを柱とし、「教育活動・教職員の指導」「家庭・地域との連携」「環境」で育んでいくことを目標にしている。また、家庭・地域との連携の中で、「外部人材・関係団体の協力による授業・活動」を重点項目として設定している。

自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きるとは、生活の中で発見した課題や疑問に対して探究心を持ち、積極的な人との関わりを経て、自分の考えを確立させることであると考え。また、「地域から信頼される学校」を目指すために、学校がどのような教育活動を行っているかを地域の方々に認知してもらい、地域と共に子どもたちを育てていこうという雰囲気づくりをしていくことが肝要であると思われる。これらの理由から、子どもたちが地域の人々と積極的に交流し、地域の人々と共に学ぶ環境が学校目標を具現化することにつながると考え、本主題を設定した。

### (3) 児童の実態から

全校で実施した実態アンケート（※資料編参照）の結果から、「集団の中で、目標に向かって努力したり、全員で解決しようとしたりすること」に関する質問に対し、肯定的な回答をした児童の割合はどの項目でも過半数を超えていた。一方で、「実際に目標を達成できた、問題が解決できた」と感じている児童の割合はそれを下回り、高学年用アンケートの該当の設問では、肯定的な回答が3割程度であった。課題解決に向かう中で、みんなで協力してやっていくことはできるが、実際に解決したり、納得のいく答えが出せていなかったりしていることがわかった。児童同士のやり取りや学校内での活動だけでは、実際に課題を解決しても満足いく結果にならないと感じている。最終的な目標に至る計画を児童自身が計画して活動を行っていても、情報が不十分で充実した探究活動には至っていないことも考えられる。

そこで、地域の方々との関わり合う機会を設定することで、より多様な関係性を育み、他者との関わりを通して創造性を培いながら探究活動を充実させることができると考え、本主題を設定した。

## 3 地域人材について

児童と共に自分たちが住む地域にある施設を考えたところ、本校より北側の学区である風間街道沿いにある梨園と、西白井地区にあるデイケアサービスセンターが挙がった。どちらの施設も学校より徒歩圏内であり、児童にとって身近にある施設である一方で、自分たちとの繋がりにはあまり意識していない様子であった。そこで、梨畑では地域の農家の方との連携、デイケアサービスセンターでは高齢者の方や施設の職員の方との連携により、地域に児童のことを知ってもらうと共に、学年の発達段階に応じた交流を考えるようにした。

学習指導要領の重点目標である、「学びに向かう力・人間性等」の「積極的な社会への参画」にも繋がると考え、3年生では「自分と地域のつながりに気付く」、4年生では「自分と地域のつながりに気付く、地域の活動に参加したり、奉仕活動を行ったりしている」という能力の育成を目指していくこととした。

## 4 研究仮説

教師が意図的に地域人材を活用することで、実社会の中にある問いや課題に対して主体的・共働的に取り組み、積極的に地域社会でできることについて探究する態度が育まれるだろう。

学習が始まる前に、4年生の児童へ行ったアンケート結果は以下の通りである。

西白井のデイケアサービスセンターを知っていますか。（4年生児童99名対象）

・知っている 33%

（知っていると答えた児童への追加質問）

どんなところですか→お年寄りがいっぱいいる（63%）、老人ホーム（18%）、介護する（18%）

・名前は知っているがどういうところかは知らない（40%）

・知らない（27%）

知っている、と答えた児童は全体の3割程度であり、名前を知っているだけの児童が4割であった。知っている、と答えた児童も、実際にどんな場所なのか、という質問から、「何となく高齢者がいるところである」という認識があるだけで、具体的なものはほぼ挙がらなかった。「近くにあるけれど、案外どんなことをしているのか知らない場所がある」ということを認識したことで、自然と児童から「調べてみたい」「実際に職員に話を聞いてみたい」「高齢者との関わりをもっとみたい」といった意見が出るようになった。児童はこれまでに、「福祉」をキーワードに探究的な活動を行ってきており（※資料編第4学年指導計画参照）、次への課題設定のために身近なところにある福祉へ視点を向けているところであったため、「地域の高齢者と福祉の関わり」に

目が向き、「高齢者の困っていることは何か」「デイケアサービスセンターで自分たちにできることはないか」といった新たな学習のテーマが生まれた。

新たな課題設定を受けて、指導者が適切なタイミングで地域人材の活用を取り入れていくことで、充実した情報収集や整理・分析をすることができるようになり、児童に身近な施設や人材を活用することで、学びへの必然性が生まれ、児童の探究心向上にもつながると考える。

#### 【手立て】

- ①総合的な学習の年間での一貫したテーマを設定し、徐々に身近な課題にせまっていくことで、探究的な見方・考え方ができるようにしていく。
- ②地域人材の活用と、その後の児童同士の話し合い活動を充実させ、集団の中で課題を解決していくことの楽しさを味わわせる。

## 5 実践例

### 第4学年「みんな笑顔で輝くまち 大山口～お年寄りと仲良くなろう」

#### (1) 単元設定の理由

高齢化はすべての人にかかわる問題でありながら、児童の家庭環境のほとんどは核家族で、高齢者とふれあうことは少ない。児童にとって、日常生活の中で、高齢化問題を必ずしも身近な問題として認識しているわけではないと思われる。高齢者のために主体的に行動実践する態度を育成し、他者を尊敬する気持ちや他人を思いやる気持ち、そして共に生きていくという考え方を育むことは、大切だが難しい課題である。そこで、高齢者と交流しふれあう活動やボランティア活動を体験することが、そのような考え方を育むきっかけになると考えた。これらのことから、「高齢者とのふれあいやかかわりを通して、自分を見つめ自他を尊重しながら、ともに生きていこうとすることができるようにすることで、積極的な社会参画を目指す」ため、本単元を設定した。

本実践の児童は、明るく子どもらしい面をもっている。調べ学習では、自分の思いをしっかりともち、最後までがんばろうとする児童が多い。特に、昆虫や植物など身近な自然に興味をもち、進んで調べることができる。しかし、相手の立場に立って話したり、行動したりするためには、経験が必要である。

3年生の総合的な学習の時間では、校庭にある樹木と自分たちの関わりという課題をもち、その後、地域の環境へと探究課題が移っていき、進んで調べるようになった。身近な環境についてまとめた中で、「環境が人を幸せにする」というものが出てきた。4年生に進級し、新たな課題を設定する中で、「人の幸せすなわち福祉（[ふ]だんの[く]らしを[し]あわせに）」について考えていくということになった。

6月には、地区社会福祉協議会が主催する「ふれあい支えあい食事会」に参加した。その食事会では、一緒にお弁当を食べ、高齢者との交流を行った。その食事会を楽しみにしていた高齢者が、児童を笑顔で受け入れて、「昔の話」や「長生きの秘訣」を児童に語った。自分の祖父母とは違った高齢者の方々の優しさにふれ、楽しい時間を過ごした。その中で、杖を使ってゆっくりと歩く姿やその手伝いをするボランティアの存在に気付き、自分たちにできることがあるか真剣に考える姿が見られた。このふれあい活動を生かして、お年寄りとなかよくなる機会を増やし、福祉に対する児童の関心をさらに高めたいと考えた。

夏休みには、祖父母に会ったり、一緒に何かをしたりしたことを楽しかった経験としてあげていた。そこで、それらの経験を想起することから学習を始め、地域の福祉に携わっている人の話を聞くことで、自分の課題を立て、自分なりの見通しをもって調べ、話し合い活動を交え情報交換をしていきたいと考えた。

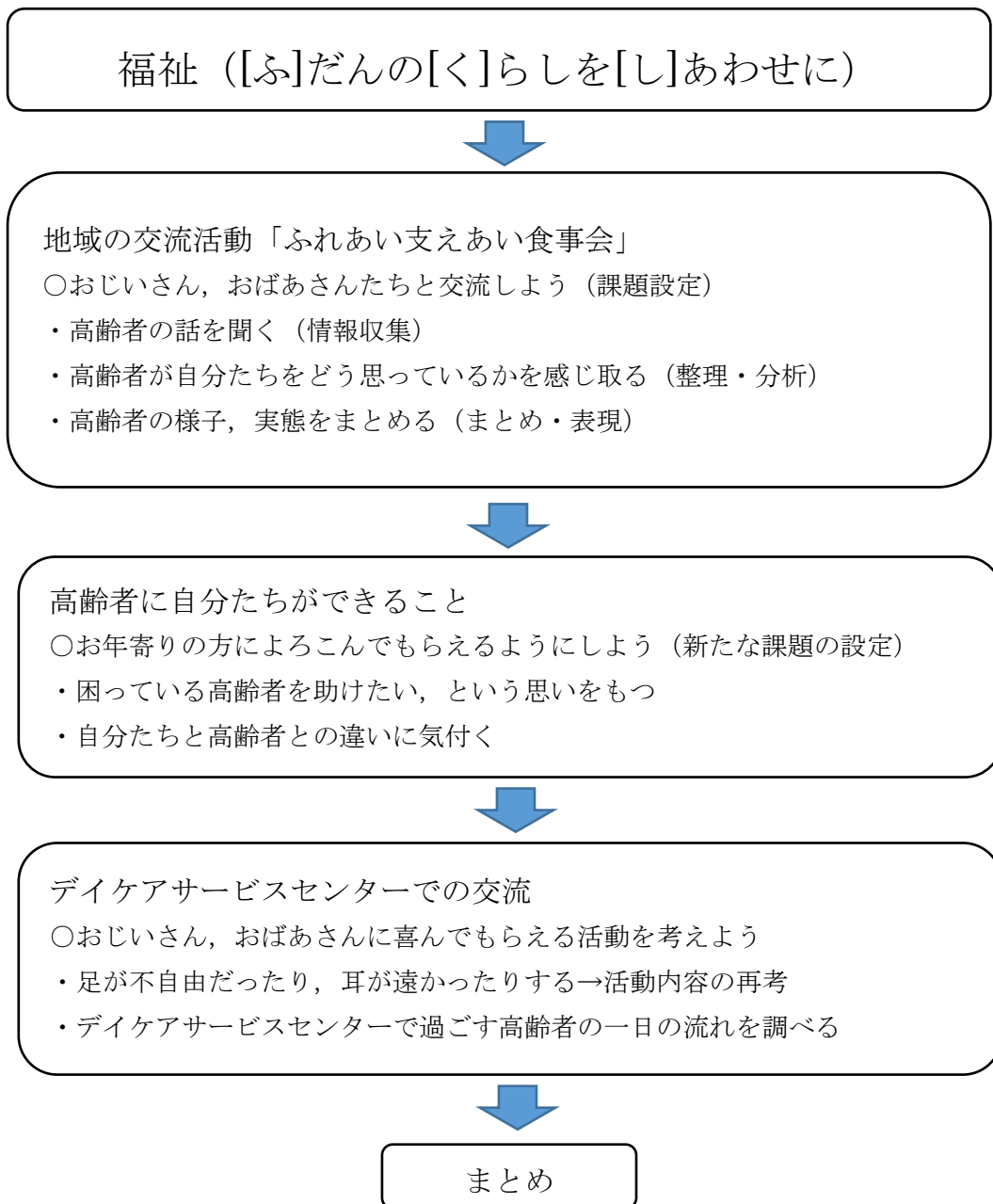
学区の北側に、デイケアサービスセンター施設がある。一部の児童は毎日施設の前を歩いており、多くの

児童が買い物等で移動するときの通り道でもある。しかし、そこで生活する高齢者の方々の様子についてはよく知らない。身近ではあるが意識があまり向いていないところである。そこで、施設についての情報収集をすることで、自分も地域の一員であることを認識し、自分たちにできることを考えるきっかけとしたい。

また、交流の仕方を考えることで、相手の立場を思いやる姿勢が出てくることを期待したい。学習してきた経験を生かし、「高齢者にやさしいまち」とはどんなまちなのかを考える。その中で「支え合い共に生きる」とはどういうことなのか、自分にできることは何かなどについてまとめることで、これからの自分の生き方を考えさせたい。

このような交流活動を通して、誰かのために働くことの気持ちよさ、充実感を知って他者の力になろうとしたり、自分にできること（ふだんのくらしのしあわせを考える）をしたいという思いが生まれたりし、実際に行動できるようになっていくことが、積極的な社会参画につながると考える。

## (2) 単元構想図



(3) 単元の目標

○地域で高齢者のために仕事をする人々がいて、自分たちの生活にも関わっていることを理解することができる。

<知識及び技能>

○高齢者について、事実を比較したり、関連づけたりして分析することができる。

<思考力、判断力、表現力等>

○高齢者とのふれ合いを通して、多様な世代と関わることのよさや他者を尊重することの大切さについて実感することができる。

<学びに向かう力、人間性等>

(4) 指導計画 (24時間)

学習過程	時間	活動内容と学習内容	活動指導・支援 ○評価【方法】	備考
見出す	1	○地域のデイケアサービスセンター施設の方の話を聞き、課題を見つける。	・事前にアンケートを取り、「デイケアサービスセンター」や「介護」に対する意識や認識について確認する。 ○地域の介護施設について聞き、自分なりの課題をもとうとしている。(学びに向かう力・人間性等) <b>【観察・ワークシート】</b>	介護施設職員の方と打合せ
体験学習	2	○高齢者疑似体験と簡単な介護体験を通して、高齢者の体の不自由さを体験する。	・地域人材を活用し、高齢者疑似体験と講演を行ってもらえるようにする。 ○高齢者の体の不自由さを理解し、よりよい関わり方を理解している。(知識・理解) <b>【発言・観察】</b>	地区の福祉協議会の方に依頼
課題の設定	3	○話を聞いたり、体験したりしたことを生かして、自分の課題を設定する。	・ピラミッドチャートを活用し、興味をもった内容から自分の課題設定につなげる。 ○福祉や介護について考え、調べようとしている。 (学びに向かう力・人間性等)	思考ツールを適宜活用 ※ウェビングマップ
計画の作成	6	○高齢者の方と交流する計画を立てる。	・インターネットで検索する際、適切な情報を取捨選択できるように支援する。 ・親戚や家族に高齢者がいる場合は、身近な人との関わりを計画に生かせるようにする。 ○高齢者とのふれ合いをするために必要な情報や資料を収集し、それらをも	思考ツールを適宜活用 ※ピラミッドチャート 家族へのインタビュー

			とに活動について計画している。(思考力, 判断力, 表現力等) 【観察, ワークシート】	
体験学習	3	○デイケアサービスセンターを訪問し, 高齢者の方と交流をする。	・地域のデイケアサービスセンターに協力してもらい, 交流活動の機会を設ける。 ○主体的に高齢者の方々と交流しようとしている。(学びに向かう力・人間性等) 【発言, 観察】	普段友達に話すような感じとは異なることをおさえる
整理・分析	2	○体験を通して感じた成果と課題をまとめる。	・振り返りを行う際に付箋を用意し, 簡潔に課題と成果をまとめられるようにする。 ○実際に交流をして感じたことをもとに, 成果と課題を書いている。(思考力, 判断力, 表現力等) 【付箋】	
		○グループごとに集まり, 成果と課題を整理する。	・模造紙を用意し, KJ法で成果と課題をまとめられるようにする。 ○グループで共通の課題や成果をまとめようとしている。(学びに向かう力・人間性等) 【発言・観察】	KJ法
まとめ・表現	6	○学習したことをプレゼンテーションソフトにまとめる。	・原稿を読むだけでなく, スライドを生かして発表できるように声をかける。 ・スライドの作り方, 保存の方法などを全体で指導し, その後個別に対応していく。 ○高齢者と自分たちの違いを見つけ出している。(知識・技能) 【プレゼンテーション】 ○表現方法を考え, 適した表現でスライドに表している。(思考力・判断力・表現力) 【プレゼンテーション】	
		○発表する。	・相手に伝わりやすい言葉を選んだり, 聞き取りやすいように話し方を工夫したりできるようにする。 ○まとめたことを相手にわかりやすいように伝えようとしている。(思考力・	実態に応じて, 発表する対象を変える

			判断力・表現力) 【観察, ワークシート】	
次の課題の設定	1	○発表の振り返りをして、今後の課題について考える。	・これまでの活動を振り返り、今後どんなことがやれるかを考えられるようにする。 ○これまでの活動から、次の課題を見出そうとしている。(学びに向かう力・人間性) 【発言, ワークシート】	

(5) 学習の様子

○デイケアサービスセンターの所長さんの話を聞く



事前にデイケアサービスセンターについて少し調べて、気になることを質問しました。  
「何人くらいのお年寄りが生活していますか？」

- ・話を聞く前に、「お年寄り」から連想されることを、思考ツール（ウェビングマップ）を生かして集めて、興味関心を高めておく。

○体験学習

①講義「高齢者の体」



②高齢者疑似体験



③車椅子体験



「見えづらい!」「体が重い!」  
「移動をしたり、立ったり座ったりするだけでも大変だ……」

④認知症って何だろう?



もし、身近に認知症になってしまった人がいたら……  
「どんな風に話しかけてあげればいいんだろう?」  
「どんなことをしてもらえたら、嬉しいと感じるんだろう?」

＜課題設定に至る思考＞  
自分たちも、高齢者の役に立てるだろうか……



○デイケアサービスセンターについて

①自分たちが住む地域に、デイケアサービスセンターという高齢者用の施設があることを知る。

②施設に通っている高齢者のためにできることはないか考える。〈課題設定〉

⇒思考ツール（ピラミッドチャート）を活用し、漠然とした課題から、自分にできる活動へと絞っていく。

③インターネットや図書館の本を活用し、デイケアサービスセンターという施設がどんなところかを調べる。

〈情報収集〉

④調べたことをレポートにまとめ、似た課題の児童同士で情報交換、意見交換を行う。

〈整理・分析〉

○高齢者と交流する計画を立てる



・自身の体験を通して、高齢者に喜んでもらうために何ができるか考える。

「最初はお年寄りとサッカーなどで遊ぼうと思ったけど、それは難しそう……」

「動き回る活動は一緒にできないね、紙芝居や劇を見て楽しんでもらうのはどうかな」

「耳が不自由な人も多いから、大きな声でゆっくりと話さないと聞こえないかもしれないね」

○デイケアサービスセンターを訪問し、交流する

・ソーラン節を披露



・オリジナルの劇



・クイズ



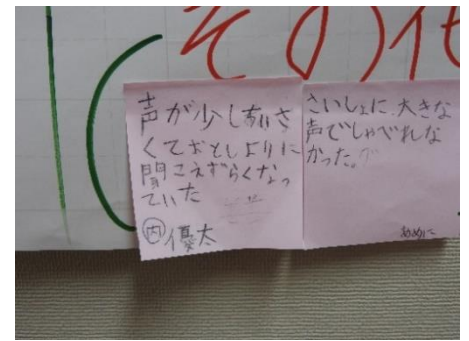
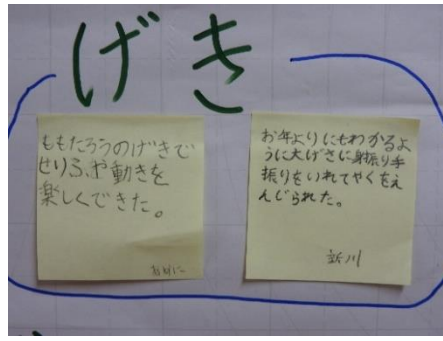
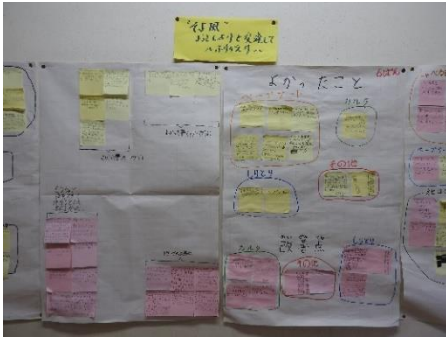
・ペープサートで紙芝居



「伝統的な日本の踊りなら、おじいさん、おばあさんにも楽しんでもらえるね！」

「おじいさん、おばあさんが明るい気持ちになってくれるように、楽しい劇にしよう」

## ○成果と課題を整理する



- ・ KJ 法で模造紙にまとめ、各学級ごとの成果と課題を見合う。
- ・ 活動を通して、新たに感じたことやこれからの自分にできそうなことを踏まえて、まとめをする。

## ○プレゼンテーションソフトの活用

- ・ 活動を通して分かったこと、今後に生かしていきたいことをまとめる。

## 成 果

- 事前事後に行った児童へのアンケートで、「お年寄りとの交流が楽しい」と答えた児童の割合が、事後の方が高くなった。⇒資料編・交流事後アンケートより
- 地域の方々との関わりを経て、自分の住む地域に対する関心が高まり、新たな課題を設定するための素地が生まれた。⇒第6学年での実践へ（後述・資料編参照）
- 地域に目を向け、「自分が地域の一員としてできることは何か」を考える習慣が付き、積極的な社会参画をしようという態度が育まれた。⇒資料編・児童の感想より
- 探究の中で、周囲の意見と比較検討しながら、自身の活動体験を踏まえてまとめ・表現し、課題を解決する力が付いた。⇒話し合い活動、プレゼンテーションソフトの活用
- 人に対して発表することへの自信がもてるようになり、意見を発信することへの積極性が増した。⇒その後の授業態度等

## 課 題

- ◇ まとめたものを、誰を対象に発表するかを考える必要がある。
- ◇ 児童の主体的な学習のためには、指導者が課題の方向性を明確にしていく必要がある。
- ◇ デイケアサービスセンターでの活動は、コロナ禍においては困難であり、令和2年度は実施することができなかった。直接赴かなくても交流ができ、情報収集の幅が広がる ICT 機器の活用を更に進める必要がある。

↓ 探究の過程を繰り返していくために

### コロナ禍を考慮した今後の課題

これらの実践はコロナ禍以前の実践であり、現在同じように実施することが困難な状況にある。コロナ禍における実践としては、タブレット等を用いた遠隔での対話などが考えられる。

現在実践を行った児童は第6学年になっており、この実践の際に行ったプレゼンテーション作成の力を生かして、「持続可能な開発目標 (SDGs)」と白井市の発展を関連付けた新たな探究課題のもと、学習をしている。社会情勢に応じた新たな課題の設定が、今後も必要になってくると思われる。

※活動の様子については、資料編を参照

## ま と め

- 自分も地域の一員であることを意識することで、積極的な社会参画をする素地が育った
- 他者に優しくすることの気持ちよさを感じることができ、共働的に取り組む態度が育まれた
- 地域について知り、適切な地域人材を活用することで、主体的な取り組みが生まれた

第71次印旛地区教育研究会 総合的な学習の時間

# 資料編

「地域人材の使い方を通じた探究的な学習について」～中学年での実践を通して～

令和3年 8月18日  
白井市立大山口小学校  
越後谷 知篤  
後藤 麻由

○総合的な学習 全校実態調査アンケート 低学年用

(1) しつもん

		せんたくし			
		1 ぜんぜんあてはまらない	2 あまりあてはまらない	3 まあまああてはまる	4 とてもあてはまる
1	がっきゅうかつどうのじかんや はなしあいはずきだ。	○	○	○	○
2	みんなで もくひょうにむかって がんばることができる。	○	○	○	○
3	はなしあうときに わけを かんがえながら はなしている。	○	○	○	○
4	ともだちの いけんをききながら じぶんのいけんを かんがえることができる。	○	○	○	○
5	じぶんには よいところや じまんできるところがある。	○	○	○	○
6	がっこうのきまりをまもって みんながきもちよくせいかつできるようにしている。	○	○	○	○
7	してよいことと わるいことの ちがいがわかる。	○	○	○	○
8	がっきゅうでのしごととは どんなことをすればよいか わかっている。	○	○	○	○
9	みんなできめたことは じぶんのやることをかんがえて すずんでやるようにしている。	○	○	○	○
10	がっこうのみんなには なんでもはなすことができる。	○	○	○	○
11	がっきゅうのもんだいを みんなではなしあって かいけつしたことがある。	○	○	○	○
12	すずんで じぶんのいけんを いうことができる。	○	○	○	○
13	ともだちのはなしを しっかりきくことができる。	○	○	○	○
14	じぶんは がっきゅうで やくにたっている。	○	○	○	○
15	やくそくをまもって いっしょうけんめいべんきょうすることができる。	○	○	○	○
16	じぶんのよいところをのばすために がんばることができる。	○	○	○	○
17	みんなにむかって はなしをすることがずきだ。	○	○	○	○
18	みんなできめたことを ともだちときょうりよくして とりくむことができる。	○	○	○	○
19	べんきょうや うんどうで ともだちと おしえあうことができる。	○	○	○	○
20	はなしあうときは めあてをきめている。	○	○	○	○
21	ともだちのいけんを しっかりきいている。	○	○	○	○
22	はなしあいのとき あたらしいかんがえを だすことができる。	○	○	○	○
23	おもうようにいかないこともあるけれど じぶんのことがずきだ。	○	○	○	○
24	がっきゅうやがっこうのきまりをかんがえながら せいかつすることができる。	○	○	○	○
25	してよいことと わるいことのちがいがわかり わるいことをしたときに「ごめんさい」が使える。	○	○	○	○
26	せんせいといっしょに めあてをつくることができる。	○	○	○	○
27	みんなできめたことを みんなでやって やったことのふりかえりができる。	○	○	○	○

○総合的な学習 全校実態調査アンケート 中学年用

(1) 質問

		選択肢			
		1 ぜんぜん当てはまらない	2 あまり当てはまらない	3 まあまあ当てはまる	4 とても当てはまる
1	学級活動の時間や、話し合い活動（学級会など）が好きだ。	○	○	○	○
2	みんなで目ひょうに向かって、ど力することができる。	○	○	○	○
3	学級活動で話し合うとき、理由を意しきしている。	○	○	○	○
4	友だちの思いを考えて意見を聞き、自分の考えとくらべながらよりよい意見を考えることができる。	○	○	○	○
5	自分には、よいところやじまんでできるところがある。	○	○	○	○
6	学校のきまりを守って、みんなが気持ちよく生活できるようにしている。	○	○	○	○
7	ほかの人が左右されず、自分の考えで行動することができる。	○	○	○	○
8	みんなで活動するときは、自分がどんなことをすればよいか考えながら動いている。	○	○	○	○
9	みんなで決めたことに対して、自分のやるべきことにきちんと取り組むことができる。	○	○	○	○
10	学校の人にはなんでも話することができる。	○	○	○	○
11	学級の問題をみんなで話し合い、かい決したことがある。	○	○	○	○
12	進んで自分の意見を言うことができる。	○	○	○	○
13	友だちの話をしっかり聞いたり、友だちの意見につなげて意見を言ったりすることができる。	○	○	○	○
14	学級や学校で、自分は役にたっていると思う。	○	○	○	○
15	学習のやくそくを守って、一生けんめいに勉強することができる。	○	○	○	○
16	自分のよいところをのぼそうと、ど力することができる。	○	○	○	○
17	司会や記ろくの仕事をすることがすきだ。	○	○	○	○
18	みんなで決めたことを、友だちと協力して取り組むことができる。	○	○	○	○
19	勉強や運動で、よく教え合うことができる。	○	○	○	○
20	学級活動で話し合うときは、目ひょうを意しきしている。	○	○	○	○
21	友だちの意見をしっかり聞いている。	○	○	○	○
22	話し合いのとき、新しい考えを発表できる。	○	○	○	○
23	思うようにいかないこともあるけれど、自分のことが好きだ。	○	○	○	○
24	学級や学校のきまりをいつも意しきしながら行動することができる。	○	○	○	○
25	何か問題があったときは、自分で問題をかい決できる。	○	○	○	○
26	先生からアドバイスをもらいながら、めあてなどをつくることができる。	○	○	○	○
27	みんなできめたことを行動にうつし、ふり返ってから次の活動に生かすことができる。	○	○	○	○

○総合的な学習 全校実態調査アンケート 高学年用

(1) 質問

		選択肢			
		1 全然当てはまらない	2 あまり当てはまらない	3 まあまあ当てはまる	4 とても当てはまる
1	学級活動の時間や、話し合い活動（学級会など）が好きだ。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	みんなで目標に向かって努力することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	学級活動で話し合うとき、理由を意識している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	友だちの想いを考えて意見を聞き、自分の考えと比べながらよりよい意見を考えることができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	自分には、よいところやじまんでできるところがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	学校のきまりを守って、みんなが気持ちよく生活できるようにしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	他の人が左右されず、自分の考えで行動することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	委員会などの仕事で、どんなことをすればよいか考えながら取り組んでいる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	みんなで決めたことに対して、自分のやるべきことを考えて取り組むことができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	学校の人にはなんでも話することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	学級の問題をみんなで話し合い、解決したことがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	進んで自分の意見を言うことができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	友だちの話をしっかり聞いたり、友だちの意見につなげて発言したりすることができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	学級や学校で、自分は役にたっていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	学習の約束を守って、一生けん命に勉強することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	自分のよいところを伸ばそうと、努力することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	司会や記録の仕事をするのが好きだ。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	みんなで決めたことを、友だちと協力して取り組むことができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	勉強や運動で、よく教え合うことができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	学級活動で話し合うときは、目標を意識している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	友だちの意見をしっかり聞いている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	話し合いのとき、新しい考えを生み出すことができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	思うようにいかないこともあるが、自分のことは好きだ。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24	学級や学校のきまりをいつも意識しながら行動することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
25	何か問題があったときは、自分で問題を解決できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
26	自分たちの話し合いのめあてをつくり、役割を分担することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
27	みんなで決めたことを実践し、それを振り返り、次の活動に生かすことができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 4年生

## 児童の実態（令和元年度4年生 99名）

(1) あなたは友達と意見交流をするのが好きですか。理由も書きましょう。	理由（複数回答可）
好き 34名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見との違いを考えることが楽しいから。 10名</li> <li>・いろいろな意見が聞けるから。 6名</li> <li>・思ったことを言えばいいから。 3名</li> <li>・人に意見を伝えることが好きだから。 3名</li> <li>・わからないことがわかるようになるから。 3名</li> <li>・友達の意見が聞けるから。 2名</li> <li>・友達と意見交流をして、意見が合うとうれしいから。 2名</li> <li>・人の意見を聞くと納得できることがあるから。 2名</li> <li>・友達と違う意見が言えるから。 2名</li> <li>・想像が広がるから。 1名</li> </ul>
どちらかといえば好き 37名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を聞くのが好きだから。 14名</li> <li>・いろいろな情報が得られるから。 6名</li> <li>・意見の対立や同意が楽しいから。 4名</li> <li>・自分の意見を言うことが好きだから。 2名</li> <li>・意見を言うのは好きだけど、話すときの順番を勝手に決められるのは嫌だから。 1名</li> <li>・好きだけど、説明するのは難しいから。 1名</li> <li>・友達の意見を聞くのは好きだけど、意見が違ってけんかになってしまうことがある。 1名</li> <li>・人と話すことが好きだから。 1名</li> <li>・あっているか不安だから 1名</li> <li>・どのように説明すればよいかわからないから。 1名</li> <li>・恥ずかしいけど褒められるとうれしいから。 1名</li> <li>・班で発表なら好きだから。 1名</li> <li>・恥ずかしいから。 1名</li> <li>・わからないことを教えてくれるから。 1名</li> <li>・緊張するから。 1名</li> </ul>
どちらかといえば苦手 23名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話をするのが苦手だから。 15名</li> <li>・みんなに発表するのは緊張するし、説明するのも難しい。 1名</li> <li>・話すことが思いつかないから。 1名</li> <li>・聞いてくれない人がいるから。 1名</li> <li>・自分の言っていることが間違っていたら、と考えることがあるから。 1名</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を言うのは好きだけど、恥ずかしいから。 1名</li> <li>・国語が嫌いだから。 1名</li> <li>・恥ずかしいから。 1名</li> <li>・不安だから。 1名</li> </ul>
苦手	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明することが嫌いだから。 1名</li> <li>・自分の意見に自信がないから。 1名</li> <li>・緊張してしまうから。 1名</li> <li>・意見を言うのが嫌いだから。 1名</li> <li>・話すことに自信がないから。 1名</li> </ul>

(2) あなたは、何歳くらいから「お年寄り」というと思いますか。	
50歳以下	4名
55歳～	8名
60歳～	31名
65歳～	13名
70歳～	28名
75歳～	3名
80歳～	7名
85歳～	5名

(3) 「お年寄り」と聞くと、どんなイメージをもちますか。 ※ ( ) 内は人数		
パーソナリティーについて	身体的特徴について	特性について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい (17)</li> <li>・もの知り (14)</li> <li>・ゆったり</li> <li>・おだやか</li> <li>・気が利く</li> <li>・元気</li> <li>・自然を大切にする</li> <li>・元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杖を使っている (27)</li> <li>・身体が不自由 (13)</li> <li>・白髪 (12)</li> <li>・歩くのがゆっくり (10)</li> <li>・肌がしわしわ (9)</li> <li>・身体が弱い (6)</li> <li>・高齢 (5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり外出しない (3)</li> <li>・1人では生活できない (3)</li> <li>・記憶力が低い (3)</li> <li>・大変なことが多い (3)</li> <li>・老人ホームにいる (2)</li> <li>・地域の人 (2)</li> <li>・話しにくい (2)</li> </ul>

(4)「お年寄り」と自分たちとの違いは何だと思いますか。 ※ ( ) 内は人数		
パーソナリティーについて	身体的特徴について	特性について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の量 (10)</li> <li>・やさしさ (4)</li> <li>・気持ちが違う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢と見た目 (28)</li> <li>・俊敏さ (14)</li> <li>・身体の不自由さ (10)</li> <li>・できる動きがちがう (9)</li> <li>・病気のなりやすさ (7)</li> <li>・髪の色 (6)</li> <li>・体力 (3)</li> <li>・杖の有無 (2)</li> <li>・動きの大変さ</li> <li>・体が重い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の量 (10)</li> <li>・かしこさ (4)</li> <li>・やりたいことができるかどうか (2)</li> <li>・生きている時間 (2)</li> <li>・考え方</li> <li>・忘れっぽい</li> </ul>

(5)「お年寄り」のすばらしさと大変さは何だと思いますか。 ※ ( ) 内は人数	
すばらしさ	大変さ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなことを知っている (38)</li> <li>・やさしい (21)</li> <li>・長生き (8)</li> <li>・つらいことを耐えている (5)</li> <li>・頑張っている (5)</li> <li>・元気 (2)</li> <li>・気遣いができる (2)</li> <li>・パトロールをしてくれる (2)</li> <li>・なんでもやってくれる (2)</li> <li>・ゆっくり、丁寧である (2)</li> <li>・いろいろなことを教えてくれる (2)</li> <li>・平和 (2)</li> <li>・いつも笑っている</li> <li>・仕事がないから何でもできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体が不自由 (36)</li> <li>・移動が遅い、すぐに動けない (18)</li> <li>・病気になりやすい (10)</li> <li>・体が弱い (5)</li> <li>・いろいろな障がいがある (4)</li> <li>・仕事をするのが難しい (4)</li> <li>・力が弱い (4)</li> <li>・耳が遠い (3)</li> <li>・人に気づかいをしなければいけない (2)</li> <li>・1人じゃできないことがふえる</li> <li>・食事が大変</li> <li>・いろいろなことを間違える</li> </ul>

(6) 「お年寄り」といっしょにやってみたいことはありますか。 ※ ( ) 内は人数

- ・昔遊び (こま, かるた, めんこ, 凧上げなど) (56)
- ・スポーツ (サッカー, アスレチック, ボール遊び) (11)
- ・工作 (4)
- ・昔の生活について聞く (4)
- ・勉強を教えてもらう (4)
- ・おしゃべり (4)
- ・食事会 (2)
- ・交流会 (2)
- ・ビンゴ (2)
- ・つり (2)
- ・特にない (2)
- ・掃除
- ・料理

(7) 自分のおじいさんやおばあさんとよく話しますか。 ※ ( ) 内は人数

- ・よく話す (27)
- ・話す (48)
- ・たまに話す (8)
- ・話さない (16)

(8) 西白井の「そよ風」という場所を知っていますか。 ※ ( ) 内は人数

- ・知っている (27) →お年寄りがいっぱいいるところ (13), 老人ホーム (5), 介護 (3)
- ・名前は知っているがどういうところかは知らない (33)
- ・知らない (18)

ダイケアサービスセンター 交流前後アンケート

4年生 99名在籍, アンケート97名 (2名当日欠席)

○事前アンケート

(1)お年寄りと交流するのは, 楽しみですか。	(2) (1) で○をつけた理由 (複数回答可)	割合
とても楽しみ 52%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てるのが楽しいから。 34%</li> <li>・お年寄りの話を聞いてみたいから。 12%</li> <li>・お年寄りのことがわかり, 仲良くなるから。 12%</li> <li>・お年寄りの人に楽しんでもらいたいから。 9%</li> <li>・どんなところなのかわからないから。 3%</li> </ul>	
少し楽しみ 30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみだけど, 緊張するから。 15%</li> <li>・遊べたり, 話したりできるから。 3%</li> </ul>	
あまり楽しみではない 15%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくいかないかもしれないから。 6%</li> <li>・お年寄りが苦手だから。 3%</li> </ul>	
楽しみではない 3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りが好きではないから。 3%</li> </ul>	

○事後アンケート

(1) お年寄りと交流するのは, 楽しかったですか。	(2) (1) で○をつけた理由 (複数回答可)	割合
とても楽しかった 72%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りの方に喜んでもらえたから。 44%</li> <li>・自分も楽しめたし, 優しくしてくれたから。 31%</li> <li>・お年寄りについて知ることができたから。 6%</li> <li>・達成感を味わえたから。 3%</li> <li>・交流することが好きだから。 3%</li> </ul>	
少し楽しかった 25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し失敗したけれど, 楽しかったから。 16%</li> <li>・緊張したから。 6%</li> <li>・楽しむことができたから。 3%</li> </ul>	
あまり楽しくなかった 3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの質問を理解してもらえなくて焦ってしまったから。 3%</li> </ul>	
楽しくなかった 0%		0%

(3) お年寄りとの交流を通して新しく次にやってみたいことは何ですか。 ※ ( ) 内は割合, 複数回答可
<ul style="list-style-type: none"> <li>・違う内容で高齢者の方と交流したい。(53%)</li> <li>・耳が不自由な人にもわかりやすい劇やクイズを考えたい。(9%)</li> <li>・お年寄りをサポートする活動をしたい。(13%)</li> <li>・手話について調べたい。(6%)</li> <li>・自分の祖父母にもやってあげたい。(6%)</li> <li>・身体が不自由な方のことについて知りたい。(4%)</li> <li>・特にない。(8%)</li> </ul>

#### (4) 交流の計画, 準備, 全体の感想

- ・自分たちだけでなく, お年寄りの方にも楽しんでもらえた。
- ・準備が大変だと思っていたけれど, 実際やってみると楽しかった。
- ・しっかり準備をして行えた。
- ・準備や計画が大変だった。
- ・高齢者の方がやさしかった。
- ・高齢者の方向けに, クイズの内容はもっと考える必要があった。
- ・グループで協力することができた。
- ・どのように楽しませればよいのか工夫するのが楽しかった。
- ・お年寄りの方に見てもらうことを意識して取り組めた。
- ・やさしく接してもらえた。そのやさしさを自分も周りの人に広めたい。
- ・練習した成果を見てもらえてうれしかった。
- ・年の差関係なく活動できて, 楽しかった。
- ・うまくいかないこともあったけれど, 交流をしてみてよかった。

## 1 単元名 みんな笑顔で輝くまち大山口

## 2 単元の目標

評価の観点	配慮事項等【方法】
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で見かける福祉に関わるものについて知り、人々の生活と深く関わっていることを理解することができる。</li> </ul> <b>【発言、観察、プレゼンテーション】</b>
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りで見かける福祉を発見して、自分なりの課題をもつことができる。</li> <li>調べたことについて、適切な表現方法を選んでまとめることができる。</li> </ul> <b>【付箋、ワークシート、プレゼンテーション】</b>
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を通して、身の回りに人々が助け合って生きていることに気付き、他者を尊重する心を育むことができる。</li> </ul> <b>【発言、観察、ワークシート】</b>

## 3 単元の計画（46時間）

学習過程	時間	活動内容と学習内容	活動指導・支援 ○評価【方法】
課題を見出す	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動画「障がいがある人とともに」を視聴し、様々な面で体が不自由な人を知ることを知る。</li> <li>○「障がいをもつ」ということはどういうことなのかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で身体が不自由な人などを見たことを想起させ、どのような困難さがあるかを考えられるようにする。</li> <li>○障がいがある人がいることを理解し、障がいについて知ろうとしている。</li> </ul> (学びに向かう力・人間性等) <b>【観察・ワークシート】</b>
体験学習	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○疑似体験(身体不自由・視覚障がい・聴覚障がい)と簡単な介護体験を通して、障がいがある人の感じ方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を活用し、体験活動と講演を行ってもらえるようにする。</li> <li>○身体の不自由さを体験し、障がいがある人の生活について理解している。</li> </ul> (知識・理解) <b>【発言・観察】</b>
課題の設定	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動画を見たり、体験学習をしたりして感じたことについてまとめ、自分の課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェビングマップを活用し、関連する言葉からどこに重点を置いて探求していくのかをイメージできるようにさせる。</li> <li>・地域に目を向けさせ、身近な課題を見付けられるようにさせる。</li> <li>○福祉や介護について考え、調べようとしている。</li> </ul> (学びに向かう力・人間性等) <b>【観察、ワークシート】</b>

情報の収集	6	<p>○自分の設定した課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料収集（インターネット）</li> <li>・同じ課題を設定した児童同士で情報交換をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで検索する際、適切な情報を取捨選択できるように支援する。</li> <li>○高齢者とのふれ合いをするために必要な情報や資料を収集し、それらをもとに活動について計画している。</li> </ul> <p>(思考力、判断力、表現力等)</p> <p><b>【観察、ワークシート】</b></p>
整理・分析	8	○収集した情報を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを行う際に付箋を用意し、簡潔に課題と成果をまとめられるようにする。</li> <li>○実際に交流をして感じたことをもとに、成果と課題を書いている。</li> </ul> <p>(思考力、判断力、表現力等)</p> <p><b>【付箋】</b></p>
		○グループごとに集まり、成果をプレゼンテーションソフトでまとめあげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模造紙を用意し、KJ法で成果と課題をまとめられるようにする。</li> <li>○グループで共通の課題や成果をまとめようとしている。</li> </ul> <p>(学びに向かう力・人間性等)</p> <p><b>【発言・観察】</b></p>
		○別のグループの発表を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの課題との違いに目を向けながら発表を聞く。</li> <li>○グループで共通の課題や成果をまとめようとしている。</li> </ul> <p>(学びに向かう力・人間性等)</p> <p><b>【発言・観察】</b></p>
まとめ	4	○まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動を振り返り、今後どんなことがやれるかを考えられるようにする。</li> <li>○これまでの活動から、次の課題を見出そうとしている。</li> </ul> <p>(学びに向かう力・人間性)</p> <p><b>【発言、ワークシート】</b></p>
次の課題の設定	1	○地域にある支援施設について知り、新たな課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にデイサービスセンターがあることに触れ、実際に高齢者と触れ合うことができることを伝える。</li> <li>○地域の施設について興味をもち、新たな課題を知ろうとしている。</li> </ul> <p>(学びに向かう力・人間性)</p> <p><b>【観察】</b></p>

### お年寄りと仲良くなろう（24時間）

課題を見出す	1	○そよ風で体験したことを	・デイサービスセンターでの体験から、新たに自分に
--------	---	--------------	--------------------------

		もとに新たな課題を設定する。	<p>できることを考える。</p> <p>○体験したことをもとに、新たな課題を見出そうとしている。</p> <p>(学びに向かう力・人間性)</p> <p><b>【観察, ワークシート】</b></p>
課題の設定	2	○動画を見たり、体験学習をしたりして感じたことについてまとめ、自分の課題を設定する。	<p>・高齢者とのふれ合いから実感したことや、よかったこと、困難だったことなどをまとめて、自分自身の課題設定に役立てる。</p> <p>・思考ツールの活用で、自身の考えを整理する。</p> <p>○自身が体験したことをもとに、新たな課題を設定している。</p> <p>(思考力, 判断力, 表現力等)</p> <p><b>【観察, ワークシート, 思考ツール】</b></p>
情報の収集	6	○自分の設定した課題について調べる。 ・資料収集（インターネット） ・同じ課題を設定した児童同士で情報交換をする。 ・必要に応じてインタビューを行う。	<p>・必要に応じて、地域の方々へのインタビュー等が実施できるよう連絡、調整をする。</p> <p>○設定した課題を解決するための手段を考え、実践している。</p> <p>(学びに向かう力・人間性)</p> <p><b>【観察】</b></p>
整理・分析	5	○調べたことをプレゼンテーションソフトでまとめあげる。	<p>・前回のプレゼンテーション作成の際の反省点を想起させ、よりよいスライドを作れるようにする。</p> <p>(思考力・判断力・表現力等)</p> <p><b>【観察, プレゼンテーション】</b></p>
まとめ・表現	6	○まとめたことを3年生に発表する。	<p>・原稿を読むだけでなく、スライドを生かして発表できるように声をかける。</p> <p>・スライドの作り方, 保存の方法などを全体で指導し、その後個別に対応していく。</p> <p>・相手に伝わりやすい言葉を選んだり、聞き取りやすいように話し方を工夫したりできるようにする。</p> <p>○高齢者と自分たちの違いを見つけ出している。(知識・技能)</p> <p><b>【観察, プレゼンテーション】</b></p> <p>○表現方法を考え、適した表現でスライドに表している。</p> <p>(思考力・判断力・表現力等)</p> <p><b>【観察, プレゼンテーション】</b></p> <p>○聞き手にわかりやすいように伝えようとしている。</p> <p>(思考力・判断力・表現力等) <b>【観察】</b></p>



# 令和3年度 総合的な学習の時間 全体計画

白井市立大山口小学校

<p><b>&lt;総合的な学習の時間の目標&gt;</b></p> <p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のように育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実社会の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。</p>	<p><b>&lt;学校教育目標&gt;</b></p> <p>自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成</p>	<p><b>&lt;児童の実態&gt;</b></p> <p>集団の中で、目標に向かって努力したり、全員で解決しようとしたりすることが好きな児童は多い。一方で、実際に目標を達成できた、問題が解決できたと感じている児童の割合は少なくなっている。また、友達との対話ができている、それを生かして自分から意見や情報を発信することができていないという傾向がある。友達とは対話ができても、学級、学年と広がっていくと、自己表現ができていないと感じている児童もいる。⇒より多様な関係性を育み、他者との関わりを通して創造性を培い、自己表現に自信が持てるようにしていきたい。</p>
<p><b>&lt;目指す学校像&gt;</b></p> <p>(1) 安心・安全な学校 (2) 地域から信頼される学校 (3) 活気ある学校 (4) 楽しい学校</p>		

<p><b>&lt;大山口小学校 総合的な学習の時間の目標&gt;</b></p> <p>○課題を解決する過程で、探究活動の楽しさに気付くとともに、身につけた知識・技能を今後の生活や学習につなげられる児童を育てる。(1) ○身の回りのものから自ら課題を見つけて、課題を解決するために、自分が選んだ方法で追究し、資料をまとめ、表現することができる児童を育てる。(2) ○課題を解決するために、いろいろな調べ方を身に付け、課題に適した学び方やもの見方・考え方、表現の仕方ができる児童を育てる。(2) ○人との主体的な関わりの中で、友達と協働的に取り組み、新たな考えやひらめきを生み出す創造的な児童を育てる。(3) ○社会や地域の人々と積極的に関わり、集団の中で自分の良さを生かしていこうとする児童を育てる。(3)</p>
--

<目標を実現するための探究課題と、その解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>				
学年	3年	4年	5年	6年
総合的な学習 全体のテーマ	共に生きる ～まちや地域との関わり中～			
探究課題	現代的問題 地域の特色 児童の興味・関心 職業・自己の将来	白井市をPRしよう 白井の梨を世界へ 大山口町、発見 昔のくらしタイムスリップ	みんな笑顔で輝くまち大山口(地域の福祉)① お年寄りと仲良くなるよう みんな笑顔で輝くまち大山口(地域の福祉)②	日本人の主食「米」を作ろう 海の幸・山の幸 千葉県食材を知らう スペシャルメニューを考えよう
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性	・図書資料の探し方を身に付ける。 ・発表の仕方を身に付ける。  情報を比較分類するなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。	・インターネットでの検索の仕方を身に付ける。 ・プレゼンテーションソフトを活用した発表の仕方を身に付ける。	・インターネットを利用した情報収集の仕方を身に付ける。 ・対人での資料収集の仕方を身に付ける。  情報を比較・分類・関連付けるなどして、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
		自分の関心から、地域や現代的問題についての課題を設定し、解決方法を考えながら追究している。	地域での工夫や人々の思い、自分の疑問点等を踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見直しを持って追究している。	SDGsなふるさと 白井を 世界に誇れる日本(世界遺産)  未来に向かって パソコンを使った適切な発表方法を選択し、実践する力を身に付ける。
		調べたことに関して、比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見つけている。	目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。	課題における事実や関係を、整理した情報に関連づけたり、多面的・多角的に考察したりして理解し、特徴を見つけている。
		相手に応じてわかりやすくまとめ、多様な発表の仕方でも表現している。	相手や目的、意図に応じて工夫してまとめ、適切な方法を選んで表現している。	
		学習したことを振り返り、生活に生かそうとしている。	学習したことと、その仕方を振り返り、生活に生かそうとしている。	
		課題解決に向けて、目的意識を持って意欲的に取り組んでいる。	課題意識を持って、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。	
		課題解決に向けて、身近な人々を合わせて探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気付いている。	
		自分のよさや、自分のできていることに気付いている。	探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとしている。	
		自分と異なる意見や考えがあることに気付く、相手の立場を理解しようとしている。	自分と異なる意見や考えを受け入れ尊重し、多様な考えがあることを理解して探究活動に取り組んでいる。	
		自分と地域のつながりに気付いている。	自分と地域のつながりに気付く、地域の活動に参加したり、奉仕活動を行ったりしている。	

<学習活動>	<指導方法>	<指導体制>	<学習評価>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、児童の実態を踏まえた適切な探究課題の設定。</li> <li>・地域人材を生かした活動の設定。</li> <li>・成果を発表する場の設定。</li> <li>・探究活動の中でのプログラミング教育の設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の課題意識を連続、発展させる支援。</li> <li>・体験活動の重視。</li> <li>・思考ツールの積極的活用。</li> <li>・各教科との関連の重視。</li> <li>・整理分析、表現の仕方の工夫。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育資源のデータ化。</li> <li>・学年間の引き継ぎ。</li> <li>・市立図書館、学校図書館、ICT機器の積極的活用。</li> <li>・総合的な学習の時間の主任を中心とした、学習支援体制の構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年での評価規準の作成。</li> <li>・個人内評価の重視。</li> <li>・指導と評価の一体化。</li> <li>・期末、学年末の指導計画評価、次年度への改善計画作成。</li> </ul>

<各教科における見方・考え方>				
国語	自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方に着目して捉え、その関係性を問い直して意味付けすること。	家庭	家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活現象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。	
社会	社会的現象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、比較・分類したり統合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。	体育	運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けすること。	
算数	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統一的、発展的に考えること。	保健	個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けすること。	
理科	自然の事象・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。	外国語活動 外国語	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築すること。	
生活	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連付け、試行、予測、工夫することを通して、自分自身や自分の生活について考えること。	道徳	様々な事象を、道徳的価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること。	
音楽	音楽に対する感性を働かせ、音や言葉を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けすること。	特別活動	各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて、集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に関連付けすること。	
図画工作	感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと。	総合	各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること。	

## 令和3年度 総合的な学習（第6学年）

- ・国語科「パネルディスカッションをしよう」で調べて発表したテーマについて、「持続可能な開発目標（SDGs）」と白井市の発展を関連付けたスライドを作成し、プレゼンテーションを行った。（横断的・総合的な学習）
- ・ICT機器の活用という課題、誰に向けて発信していくか、という課題に対する取り組みとなった。



「白井市というまちが、今後もあり続けるために必要なことは……」

「私が考えた取り組みは、SDGsの目標の8番目に関わりがあると思います」

「SDGs なふるさと 白井を」をテーマとして、市内小中学校の代表者が発表会を行います。

